



広島市民球場(マツダスタジアム)の 事業スキームと地域の活性化

広島市経済観光局長 日高 洋

貨物ヤード跡地(約11.3ha)

広島駅まで約800m
(徒歩約10分)

分譲マンション

球団の屋内練習場

結婚式場

商業施設

分譲マンション

スポーツジム



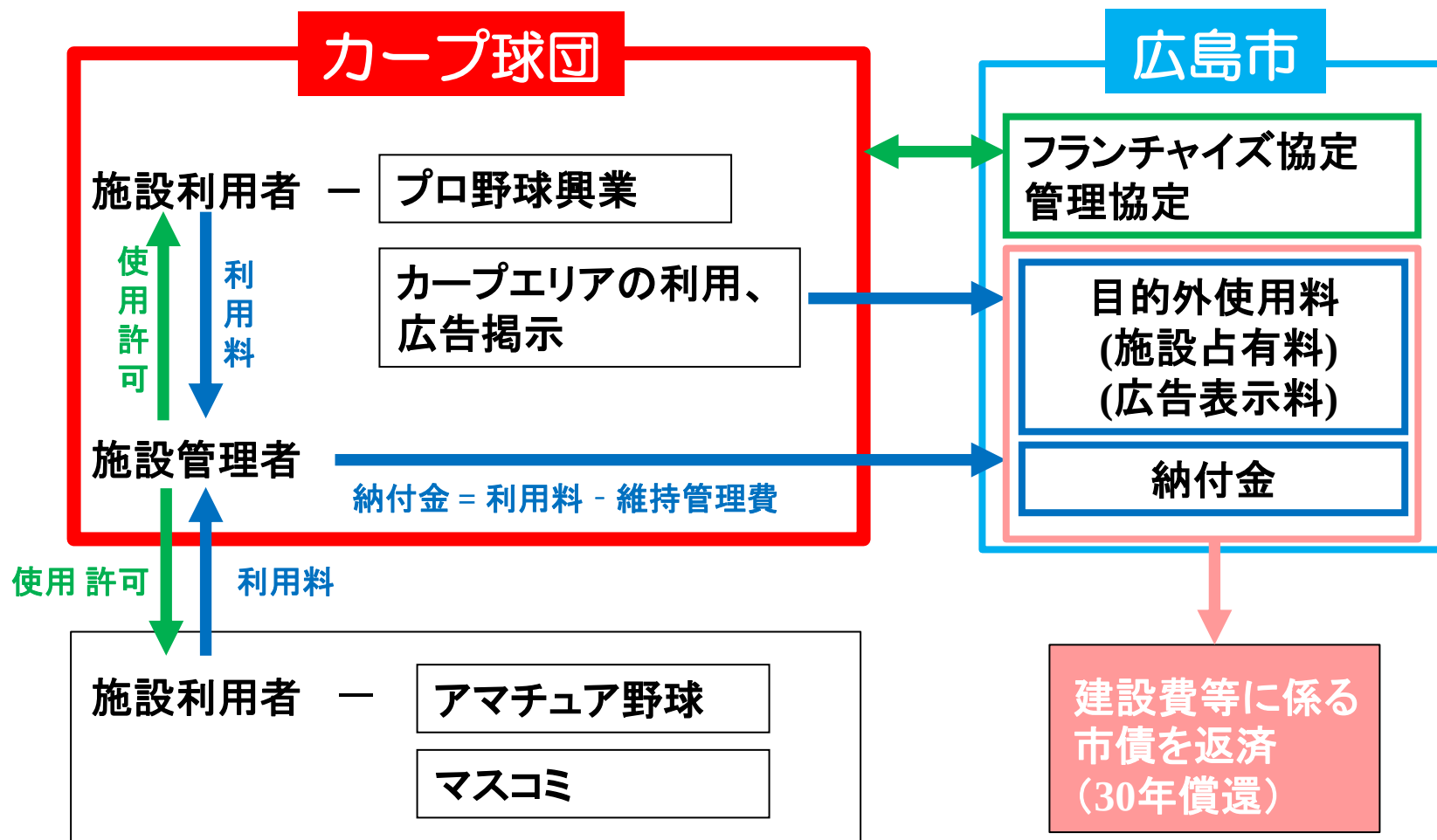
カープ球団の考える球場

1980年代から、社員が渡米し、
大リーグ球場を視察し、研究



- ①地域の活性化につながる球場
- ②天然芝のオープン球場
- ③野球に興味のある人もない人も
世代を超え気軽に訪れ、
交流できる広場のような球場

事業スキーム



凡例

- 緑色 — 手続(協定、許可)
- 青色 — お金の流れ

事業費内訳

整備費総額
144.75億円

=

用地取得費
54.75億円

本体整備費
90億円

資金計画
144.75億円

=

国庫
補助
金等

3.2
億円

借入金

51.55
億円

借入金

35.66
億円

広島
市

23
億円

広島
県

11.5
億円

経済
界

11.5
億円

まち
づくり
交付
金

7.08
億円

たる
募金
等寄
付金

1.26
億円

球場使用料で
返済

球場使用料で
賄えない部分

フランチャイズ協定

①広島を球団の本拠地とし、将来にわたって野球の普及、振興に努める。

⇒カープ球団が、広島から無くならない。

②市の承認を受けて、球団の負担により、工作物等を設置。

⇒テーマパークのように、球団が工夫して、毎年のように、施設更新できる。

③まちづくりや地域の活性化等の取組に積極的に協力

⇒地域活動への参加、地域等への球団商標の無償協力などを通じて、地域と交流

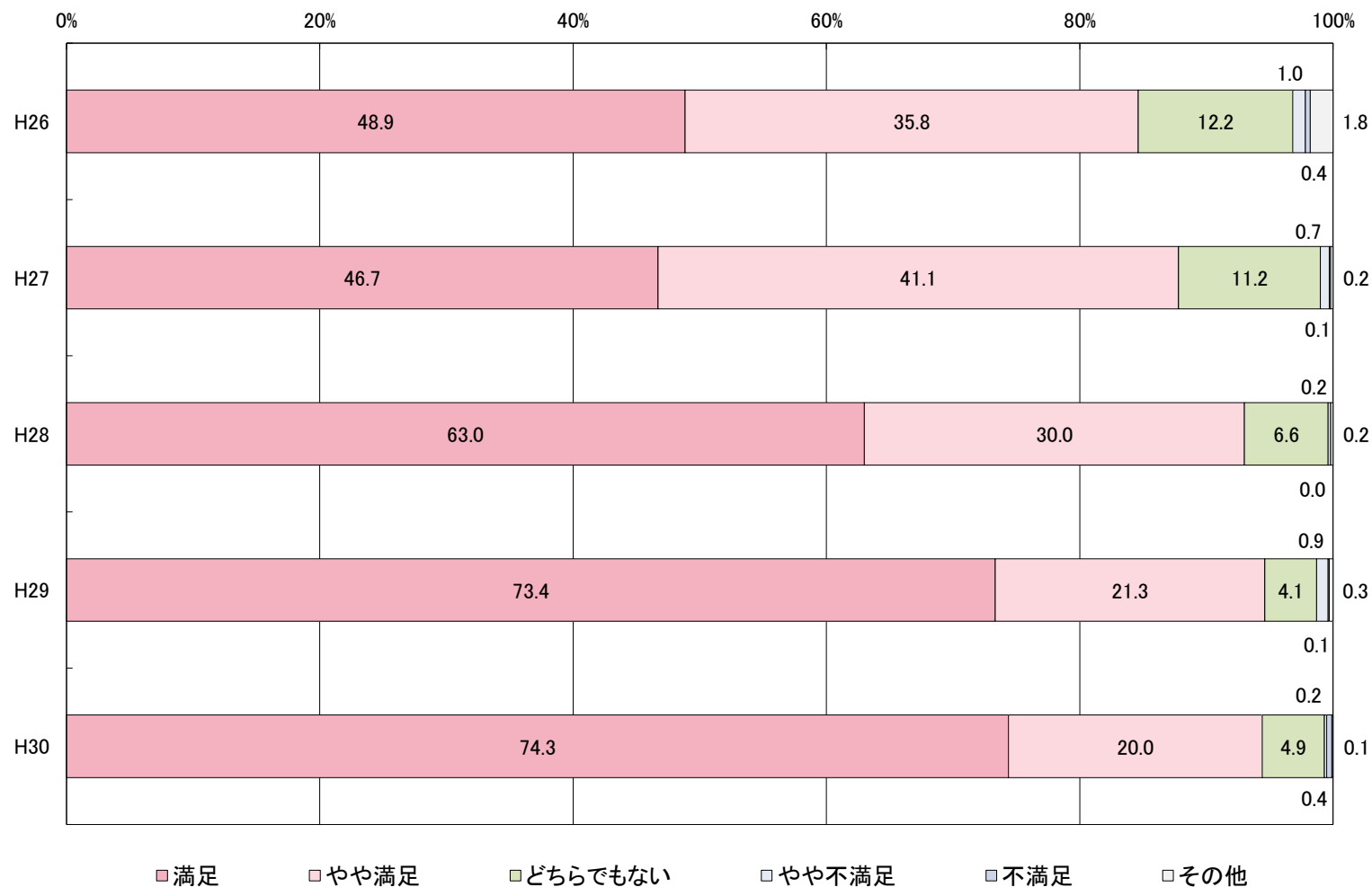
球団の経営努力

年度		2006 (平成18年)	2015 (平成27年)	2016 (平成28年)	2017 (平成29年)	2018 (平成30年)
順位		5位	4位	1位	1位	1位
入場者数	本拠地 (平均)	908,133 (13,971)	2,041,951 (30,477)	2,130,663 (30,438)	2,150,261 (31,163)	2,205,167 (31,502)
	その他	101,348	68,315	26,668	27,293	26,933
	合計	1,009,481	2,110,266	2,157,331	2,177,554	2,232,100
売上高(億円)		約57	約148	約182	約188	約189
純利益(万円)		約1,442	約76,133	約144,600	約129,700	約93,000

**独立採算のカープ球団は
初優勝した1975年から44年間、黒字である。**

来場者の傾向(アンケート調査)

総合的な満足度は高い



地域への波及効果：経済効果(平成30年)

カープによる経済波及効果(県内)

- ①カープの試合開催(県内)**
(ペナントレース、CS、日本シリーズ)
- ②優勝セール等のイベント**



年間約356億円、雇用効果3,210人

- ・直接効果(観戦チケット、交通費等)**
- ・間接効果(直接効果により生み出される売上)**